

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡城西学園 チロル I		
○保護者評価実施期間	令和6年11月15日(金)		～ 令和6年12月14日(土)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日(土)		～ 令和7年3月15日(土)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日(火)		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チロルでの活動やこどもの様子の情報の共有	日頃の活動の様子や行事予定など定期通信やホームページ、SNSなどを利用し発信を行っている 日々のこどもの様子を詳細に連絡帳へ記載したり、ラインや電話等で状況の報告などを行っている	社会性を身に付け、自立に向けての意識を高めていけるようプログラムの内容や情報の発信を行い、ご家族と一緒に支援を深めていけるよう取り組んでいく
2	こどもの特性の理解や適切な対応	城西学園の生徒に関しては学校との連携を取りながら、こどもの特性の理解や適切な対応の共有を行っている こどもの特性に対応した学習のサポートに取り組んでいる	支援者がこどもの特性を理解するだけでなく、こども自身が自分の特性への理解を深めていき、対応策を習得できるような支援に取り組んでいく
3	相談等への迅速な対応	連絡帳やライン等を活用し相談しやすい環境の提供を行い、些細なことでも丁寧に迅速に対応するよう意識している 必要に応じて関係機関の紹介などを行っている	SNSなどの活用が不十分だったため、さらに充実を図り、相談しやすい環境の整備を行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プログラム内容や活動(保護者へのペアレントトレーニングも含む)の充実	初年度で利用者の様子観察が中心となり、利用状況の不安定さで固定したプログラムが実施できなかった	昨年度の状況を元にしたしっかりとしたプログラムの設定や安定した利用ができるようなこどもたちへの働きかけを行っていく 保護者のニーズを元に提供できる情報の提供を発信していく機会を増やしていく
2	マニュアルの周知徹底	ホームページへの掲載はしているものの、ホームページの開設が遅れたことと、アナウンスの徹底ができていなかった	契約時に丁寧な説明を行ったり、アナウンスの徹底を行っていく
3	地域との連携	地域への挨拶やチロルでの取り組みへの理解を深めるアナウンスの方法を模索していて、実施するまでに至らなかった	地域の方を招待するイベントを行ったり、地域を巻き込んだ活動への取り組みができないか検討し、ボランティアを含め地域との活動を実現していきたい